

スペースロボットコンテスト 22 Research 部門 募集要項

○ 開催趣旨

科学技術の発展において、研究成果の創出と同等に不可欠なのが「発信力」です。どれほど優れた研究や開発であっても、その有用性や社会的意義を他者に正しく伝えることができなければ、その価値は十分に発揮されません。逆に、自身の取り組みを余すことなく伝えることができれば、想像以上の評価や新たな機会を獲得することにも繋がります。

過去のシンポジウムでは、中学生のプレゼンテーションが JAXA 関係者の心を動かし、「もう一度中学生に戻って参加したい」と言わしめた事例や、企業のトップと直接交流する機会を得た事例も生まれています。

SRC Research 部門では、企業の代表者や大学・研究機関の専門家が審査を行います。宇宙、環境、化学などテーマは問いません。社会に一石を投じるような皆さんの独創的なアイデアを、5分間のプレゼンテーションに凝縮してください。また、本コンテストは2026年5月に開催される「システム制御情報学会 (SCI'26)」における高校生セッション出場者の予選会も兼ねています。結果を恐れず、この「本物」の発表の場で、自身の努力と成果を問いかける積極的な挑戦を期待しています。

○ 応募資格

ICT 及びデータサイエンス教育で学んだことをベースにした各種研究レポート、論文、創作物を発表できるもの。e-kagaku 受講者及び e-kagaku がその水準を認めたコンテスト出場者。（対象例）e-kagaku が主催する各種発表（SRC、プロジェクト、シンポジウム）、オーソライズされたコンテストでの発表（日本学生科学賞、MATLAB EXPO など）、e-kagaku がその水準にあると認めたもの。

個人での参加またはグループ（3名まで）の参加。

○ スケジュール

- 2月18日：応募締め切り（発表スライドと動画の提出を含む）
- 2月25日：一次審査結果発表
- 2月27日：MATLAB EXPO 応募締め切り
- 3月22日：オンライン発表

○ 提出物

- プレゼン資料
 - ◆ パワーポイントまたはそれに準ずるもの（googleSlide など）で作成したもの。
 - ◆ プレゼン資料のスライド数に制限はないが、資料を基にビデオプレゼンを作成し、その時間が5分以内に収まる内容にまとめること。
 - ◆ 資料には研究の拝啓、方法、結果、考察（結論）を記載すること。
 - ◆ グラフや表などを用いて明確な根拠をもとに論ずること。
 - ◆ 研究テーマに関して「新規性」「再現性」「社会性」のいずれかを取り入れたテーマを設定すること。

- ◆ 提案ではなく、すでに実験などを行い、データを取得した上で資料を作成すること。
- ビデオプレゼン
 - ◆ 自身で作成したプレゼン資料を表示しながら解説音声を入れることとする。
 - ◆ 動画の長さは5分以内とする。
 - ◆ 動画の形式は「.mov」「.mp4」「.wmv」など一般的な動画再生ソフトで再生できるものとする。
 - ◆ 複数人でエントリーする場合は参加者全員が音声発表を受け持つこととする。
- エントリーおよび資料の提出方法

以下のフォームよりエントリーおよび、資料の提出を行うこと。

<https://forms.gle/p6ugJ7dZZ9TQ2Z427>

※プレゼン資料、ビデオプレゼンともにファイル名を以下の通りつけること。

「提出日_氏名_research」

※応募期限：2月18日（水）23:59迄

※複数人でエントリーする場合は代表者1名が申し込むこととする。
- 審査方法
 - 2026年2月18日～2月24日の期間に当会の定めた大学または企業関係者による審査投票を行い、上位5チームを事前審査通過とする。
 - 上位5チームは3月22日に行われるSRC Classicの決勝ステージにてZoomを使用しプレゼンを行い、当会の定めた大学または企業関係者による最終選考を行う。
- 審査基準

以下の4項目をもとに順位を決定する

 1. 研究の設定

論文の題目が適切であるか、研究の背景や目的が明確であるか。
 2. 手法・分析

研究方法が明示されていること。
目的に適した方法であるかどうか。
考察が結果（研究にて得られた数値など）に基づいて行われているか。
再現性があるか。
 3. 新規性・社会性（公益性）

研究の目的・結果に新規性があるかどうか
社会の利益として還元できるものかどうか
研究の目的が先行研究を踏まえて新たなものになっているかどうか
 4. 発表の構成

目的、仮定を論ずるのに適切な発表構成になっているか
初見の人にも伝わるような構成になっているかどうか

○ 表彰

- 受賞プレゼンは「優勝」「準優勝」「第3位」を決定する。
- 受賞プレゼンの発表は3月22日プレゼン終了後に行う
- 事前審査を通過した上位5チームを企業評価、補助金の対象とする

○ 提出物の扱い

- 提出されたプレゼン資料、動画は当会 HP 及び SNS に掲載することがあります。

○ お問い合わせ

mail:science.labo.fukuoka@gmail.com

e-kagaku アカデミー 清水